

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月9日

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4955 URL <https://www.agrokanesho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫛引 博敬
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括部長 (氏名) 高橋 克幸 (TEL) 03 (5570) 4711
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,544	6.3	908	△7.3	1,052	7.0	422	△42.7
2019年12月期第3四半期	10,856	△8.8	980	△47.1	983	△47.6	737	△37.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 599百万円(95.7%) 2019年12月期第3四半期 306百万円(△73.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	33.58	—
2019年12月期第3四半期	58.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	29,288	21,163	63.9
2019年12月期	30,214	21,990	62.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 18,713百万円 2019年12月期 18,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2020年12月期	—	10.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,411	5.8	669	△45.6	822	△38.1	274	△71.7	21.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	13,404,862株	2019年12月期	13,404,862株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,013,802株	2019年12月期	763,402株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	12,596,680株	2019年12月期3Q	12,638,875株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内農業は、農業生産者の減少および高齢化が進んでいる一方で、大規模生産者や農業法人の増加など農業生産構造の変化が現れてきております。また、昨年からの相次ぐ大型台風や大雨が農業へ大きな被害をもたらしており、その影響を残している国内農業は大変厳しい環境にあります。このような中、国内農薬業界におきましては、改正農薬取締法（2018年12月施行）により一層の農薬の安全性の向上が要求されており、国内の既登録農薬についても最近の科学的知見に基づいた安全性等の再評価が必要となっております。また、世界農薬市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、農薬の生産・物流・消費等に対する影響を注視していく必要があります。

このような情勢の中で当社グループは、経営理念である「我が信条」（お客様のため、社員のため、社会のため、株主のためという4か条）ならびに「どこまでも農家とともに」をモットーとして研究開発・技術普及・生産・販売を展開しております。これまでに多くのステークホルダーの方々のご支援をいただき、当連結会計年度に創立70周年を迎えることになりました。創業以来の経営理念を堅持しつつ100年企業を目指すために、「Lead The Way 2025」をスローガンとした長期事業計画とともに、新中期事業計画(2019年-2021年)を策定し「飛躍のための加速期間」をテーマとして取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために当社グループは安全性や衛生管理に配慮した業務運営に取り組んでおります。

研究開発部門では、創薬のための研究開発を継続するために組織力の増強と研究レベルの向上を図り、ポートフォリオの充実と拡大に努めております。

生産部門では、2018年11月に山口工場を新設しました。山口工場は、福島工場に代わる生産拠点であり、茨城工場・直江津工場と併せて、自社生産体制の向上に努めております。また、西日本の物流拠点としての機能を持ち、東の所沢物流倉庫と併せて、製品の安定供給に努めております。なお、福島工場は、2011年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業停止となり、当社グループは、福島工場を失ったことによる損失からの回復のための努力を現在も続けております。また、東京電力ホールディングス株式会社に対する損害賠償訴訟を係属中であります。

営業技術普及部門では、農業生産者への適切な技術情報の提供に加えて、土壌分析室を活用し、農業の根幹となる土づくり、土壌のセンチュウ対策、病害虫診断の支援活動を拡大しています。さらに、グローバルGAP認定取得支援ならびに地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場（カネショウファーム）の運営を開始し、これらのサービス提供により地域農業や農業生産者への貢献に努めております。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い営業活動の一部自粛や制限を実施いたしました。結果としてお客様への技術情報などの提供が出来ず大変ご不便をおかけしました。そこで5月13日より新たに「お客様相談窓口」を開設し製品の技術情報などお客様のお問合わせに電話、メールで対応させていただきました。

当第3四半期連結累計期間においては、害虫防除剤のうち主に海外向け「カネマイトフロアブル」、当社グループの新規剤「ダーズバンDF」、「兼商ヨーバルフロアブル」及び、主要剤である土壌消毒剤のうち、海外向け「D-D」等の売上が前年同四半期比増加に貢献しました。これに対して、売上原価、販売費及び一般管理費の増加により営業利益が減少しております。また、山口工場建設にかかる補助金収入を特別利益に、たな卸資産廃棄損を特別損失に計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は115億4千4百万円（前年同四半期比6億8千8百万円の増加、前年同四半期比6.3%増）、営業利益は9億8百万円（前年同四半期比7千1百万円の減少、前年同四半期比7.3%減）、経常利益は10億5千2百万円（前年同四半期比6千8百万円の増加、前年同四半期比7.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2千2百万円（前年同四半期比3億1千4百万円の減少、前年同四半期比42.7%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は事業の性質上、業績に季節的変動があり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。また、研究開発費は他の四半期連結会計期間と比較して第4四半期連結会計期間に多く計上される傾向にあります。

製品の種類別売上高については次のとおりであります。

(イ) 害虫防除剤

国内では「ペンタック水和剤」、「カネマイトフロアブル」が前年同四半期を下回りましたが、「アルバリン剤」が前年同四半期を上回り、新規剤の「ダーズバンDF」、「兼商ヨーバルフロアブル」が売上に貢献しました。海外では主に「カネマイトフロアブル」が北米・欧州を中心に前年同四半期を上回り、害虫防除剤全体で前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は28億2千6百万円（前年同四半期比7億1千7百万円の増加、前年同四半期比34.0%増）となりました。

(ロ) 病害防除剤

「兼商クプロシールド」、「アフェットフロアブル」が前年同四半期を上回り、病害防除剤全体で前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は7億5千8百万円（前年同四半期比3千1百万円の増加、前年同四半期比4.3%増）となりました。

(ハ) 土壌消毒剤

海外では「D-D」が欧州地域で前年同四半期を上回りましたが、「バスアミド微粒剤」が前年同四半期を下回り、国内でも「バスアミド微粒剤」、「ネマキック粒剤」「D-D」が前年同四半期を下回り、土壌消毒剤全体で前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は57億8千3百万円（前年同四半期比4千6百万円の減少、前年同四半期比0.8%減）となりました。

(ニ) 除草剤

「アークエース1キロ粒剤」が前年同四半期を大きく上回り、「カソロン剤」は前年同四半期とほぼ同等となりましたが、「モゲトン粒剤」、「グラメックス水和剤」が前年同四半期を下回り、除草剤全体で前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は12億7千6百万円（前年同四半期比2千2百万円の減少、前年同四半期比1.8%減）となりました。

(ホ) その他

園芸用品は前年同四半期を若干下回りましたが、植調剤、展着剤が前年同四半期を上回り、その他全体で前年同四半期を若干上回りました。この結果、売上高は8億9千9百万円（前年同四半期比8百万円の増加、前年同四半期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は292億8千8百万円（前連結会計年度比9億2千6百万円の減少、前連結会計年度比3.1%減）となりました。これは主に流動資産の内、売上債権が2億3千9百万円、その他が3億5千1百万円増加する一方、現金及び預金が13億9千3百万円減少したことにより、流動資産が前連結会計年度比8億5千2百万円減少し、固定資産の内、繰延税金資産が2億8千3百万円増加する一方、有形無形固定資産が3億4千2百万円減少したことにより、固定資産が前連結会計年度比7千3百万円減少したことによるものであります。

(負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における負債は81億2千4百万円（前連結会計年度比9千9百万円の減少、前連結会計年度比1.2%減）となりました。これは主に流動負債の内、未払法人税等が3億7千万円、賞与引当金が1億2百万円増加する一方、支払手形及び買掛金が8千8百万円、その他が1億3千6百万円減少したことにより、流動負債が前連結会計年度比2億1千8百万円増加したものの、固定負債の内、山口工場建設のための借入返済で、長期借入金2億9千2百万円が減少したことにより、固定負債が前連結会計年度比3億1千7百万円減少したことによるものです。また、純資産は211億6千3百万円となりました。その結果、自己資本比率は63.9%、1株当たり純資産額は1,510円22銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染症の拡大による業績への影響は現時点では軽微であります。世界的な被害の拡大により当社グループの事業へ影響を及ぼす可能性があり、販売市場や調達市場の今後の推移状況を注視しております。また、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。従いまして、実際の業績は、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,454,830	11,060,840
受取手形及び売掛金	4,228,540	4,017,393
電子記録債権	320,731	771,662
商品及び製品	3,043,078	2,991,163
仕掛品	275,599	293,325
原材料及び貯蔵品	1,579,172	1,562,709
その他	495,701	846,850
貸倒引当金	△1,232	—
流動資産合計	22,396,421	21,543,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,736,002	2,646,258
機械装置及び運搬具（純額）	1,002,968	873,842
土地	1,808,782	1,808,782
建設仮勘定	371	43,334
その他（純額）	104,455	97,863
有形固定資産合計	5,652,580	5,470,079
無形固定資産		
のれん	1,580,792	1,407,345
その他	17,489	30,609
無形固定資産合計	1,598,282	1,437,955
投資その他の資産		
投資有価証券	117,571	101,177
繰延税金資産	277,509	561,377
その他	196,912	198,618
貸倒引当金	△25,000	△25,000
投資その他の資産合計	566,993	836,172
固定資産合計	7,817,856	7,744,207
資産合計	30,214,277	29,288,153
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,789,836	1,701,008
短期借入金	28,380	—
1年内返済予定の長期借入金	390,441	390,441
未払法人税等	40,853	410,863
賞与引当金	50,098	152,332
その他	1,695,314	1,559,074
流動負債合計	3,994,923	4,213,720
固定負債		
長期借入金	2,588,910	2,296,079
退職給付に係る負債	345,181	310,232
役員株式給付引当金	55,804	71,022
長期未払金	499,942	499,942
その他	739,011	733,655
固定負債合計	4,228,848	3,910,931
負債合計	8,223,772	8,124,651

純資産の部			
株主資本			
資本金		1,809,177	1,809,177
資本剰余金		2,167,511	2,167,511
利益剰余金		15,704,483	15,852,152
自己株式		△564,257	△944,364
株主資本合計		19,116,914	18,884,477
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金		45,381	33,981
為替換算調整勘定		△247,307	△202,023
退職給付に係る調整累計額		△3,827	△3,236
その他の包括利益累計額合計		△205,753	△171,277
非支配株主持分		3,079,343	2,450,301
純資産合計		21,990,504	21,163,501
負債純資産合計		30,214,277	29,288,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,856,345	11,544,780
売上原価	6,484,379	7,006,352
売上総利益	4,371,966	4,538,427
販売費及び一般管理費	3,391,592	3,629,740
営業利益	980,373	908,687
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,761	2,629
受取地代家賃	11,865	12,224
為替差益	—	3,693
企業誘致奨励金	—	34,432
受取保険金	13,085	36,380
情報提供料収入	60,440	33,763
支払手数料返戻金	—	27,000
その他	10,365	8,803
営業外収益合計	99,518	158,926
営業外費用		
支払利息	14,854	11,207
為替差損	78,477	—
支払手数料	2,562	3,295
その他	509	776
営業外費用合計	96,404	15,278
経常利益	983,487	1,052,334
特別利益		
受取補償金	46,338	—
補助金収入	168,265	106,757
特別利益合計	214,603	106,757
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	415,213
特別損失合計	—	415,213
税金等調整前四半期純利益	1,198,091	743,878
法人税、住民税及び事業税	474,253	489,519
法人税等調整額	△137,698	△279,216
法人税等合計	336,555	210,302
四半期純利益	861,535	533,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	124,018	110,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	737,517	422,958

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	861,535	533,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,779	△11,400
為替換算調整勘定	△583,765	77,004
退職給付に係る調整額	32,531	591
その他の包括利益合計	△555,014	66,195
四半期包括利益	306,521	599,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,912	457,434
非支配株主に係る四半期包括利益	△108,390	142,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。